

県社協のひろば

県内六割の施設が積極的に中高年を採用
—十五年度「人材確保に関する需要調査」から—

かながわ福祉人材センターでは、福祉施設の人材確保に向け、職員の実情を把握するための調査を例年実施し、基礎資料としてまとめています。昨年度の調査では、県内の民間福祉施設（保育所・老人保健施設含む）千二百六十五施設に調査を依頼し、四五％にあたる五百六十九施設から回答を得ました。

施設の職員数や保有資格、学歴などの基本調査は次のとおりです（括弧内は前年数）。

【職員数】常勤職員数は平均二六・六人とほぼ前年同様だった一方、非常勤職員は六・八（四・〇）人、パート職員一〇・四（八・二）人と、職員全体の三九・二％を占めている。

【保有資格】延べ二万七千六百六十四人が何らかの資格を有している。最も多かった資格は、ホームヘルパー二級。次いで保育士、介護福祉士の順。

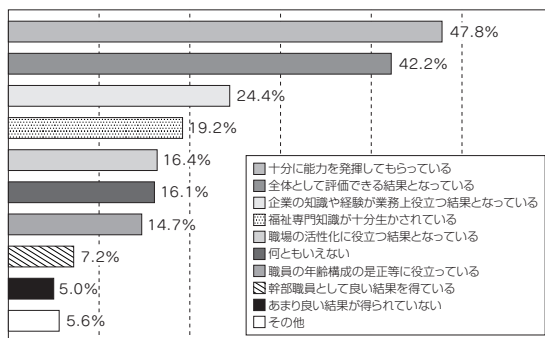
【採用数】新規採用は、延べ三千六百六十七人で、一施設あたり四・六（三・八）人と、一昨年（十三年度）の四・七人にほぼ近い数値に回復。採用者の学歴は、短大・専門学校卒が減少し、大卒が伸びを示している。

【賃金】初任給平均は、大卒で十七万三千三百八十四円、短大・専門学校卒は十六万三千五百五十円（いずれも本俸）。増加に転じた前年の調査から一転して減少傾向となつてい

る。一方、パート職員の時給の全体平均については、前年より僅かながら増加に転じた。昨年度はこの他、十四年度における四十歳以上の中高年の雇用状況についても調査を行いました。その結果、中高年を採用したことがある福祉施設は全体の六四・九％で、採用理由については、「人物が優れ、福祉に適正を得た人であったため」が四四・八％。次いで「福祉の専門家として知識・経験が豊富」、「経営上、非常勤・パートの採用にあたり中高年層の採用がふさわしい」、

「福祉分野以外の知識・経験が豊富」の順となつています。採用結果については下表のとおりで、概ね良好な結果が得られていることが分かりました。また、福祉分野の資格を持ち業務経験がない中高年であっても、一般常識・マナーやボランティアの経験、今日的な福祉動向への理解があれば、採用が期待できるとの回答も得られました。

中高年を採用した結果（複数回答）



福祉人材センターではこうした結果を受け、講座や職場体験の機会などを通じ、福祉人材を確保していきたいと考えています。

（福祉人材課）

会議、研修、研究、講演会等に

県社会福祉会館の多目的ホールをご利用ください!!

- 【場所】〒221-0844 横浜市神奈川区沢渡4-2（横浜駅下車・徒歩15分）
- 【収容】①シアター形式：約600名（内固定席3階81席）②スクール形式：約300名
※控え室もございます（使用料別途）
- 【利用対象】どなたでも利用できます。但し、営利目的や会館の主旨や設備維持等に適さない場合はお断りする場合があります。
- 【利用日時】原則第三日曜日、年末年始、施設点検日以外の、9時～17時まで
- 【利用料】①全日：平日73,100円、休日100,400円 ②午前：平日35,900円、休日50,200円
③午後：平日44,500円、休日63,100円（機材等使用料別途）
※本会会員の場合減免が受けられます。また、入場料徴収の場合は別料金となります。
- 【申込み方法】①利用日の3カ月前から電話又は来館にて仮予約受付開始、②利用日前週末曜日までに来館の上申込書を記入（FAX・郵送不可）

お問合せ…本会総務課 会館受付 ☎045-311-1421・FAX045-312-6302

